

## 平成27年度 横浜弁護士会 法に関する作文コンクール テーマ

### ＜テーマ内容＞ 「選挙と代表者」について

日本をはじめ多くの国や地域では、人々が全員集まって話し合うのではなく、自分たちの代わりに話し合いに参加する人(国会議員など、代表者といいます。)を投票によって選び(選挙といいます。)、その代表者たちが会議(議会)で話し合って、法律などの社会のルールやお金の使い道(予算)を決めています。

このように選挙によって選ばれた代表者が話し合いをして物事を決めていくという方法は、国だけでなく、都道府県や市町村といった地方公共団体や、町内会、皆さんの学校に至るまで、さまざまな場面で使われています。

このような方法によってルールやお金の使い道を決めることの意義(理由)や問題点(注意点)について、選挙や代表者に関する、あなた自身や身近な人の経験、日々のニュースで知った世の中の出来事、次の【事例】などを取り上げて(取り上げる経験や出来事は、一つだけでも、幾つかでもかまいません)、あなたの考えを自由に述べてください。

### 【事例】

X高校では、学校の備品を買うお金のうちの一部について、その使い道は、各クラスから選挙で選ばれるクラスの代表者が集まって話し合って決めることになりました。

X高校の生徒たち全体では、体育の授業や運動部の活動で使える運動用具を買ってほしいという意見が多数で、1年Y組でも、「運動用具を買うことにしたい」と約束したAさんが代表者に選ばれて話し合いに参加しました。

ところが、各クラスの代表者たちの話し合いの中で、3年生の代表者の一人が、「図書室の本が少なくて、レポートを書くときに困っている。だから、本を買ったらいいのではないか」という意見を出しました。

代表者たちが時間をかけて議論した結果、代表者たちは、「生徒全体の意見とは違うけれども、図書室の本を買うことがみんなのためになる」と考え、図書室の本を買うことに決めました。

Aさんは、議論に参加する中で、「上級生になるとレポートの内容が難しくなるので、図書室にいろいろな種類の本が必要になるし、図書室に本がたくさんあることは自分たち1年生のためにもなる。1年Y組のみんなのためにもなるのだから、選挙のときの約束と違ってしまってもいい」と考え、図書室の本を買うことに賛成しました。

ただ、X高校の生徒たちの中には、代表者たちの決定が生徒たち全体の多数意見と違ってしまったことに納得していない人がいるようですし、お金の使い道は生徒全員が参加する話し合いで決めるべきだったと考えている人もいます。

また、1年Y組の生徒の中には、Aさんが約束を破ったことを快く思っていない人がいます。